

27 パキスタン

首都圏給水事業(カンプール第1期給水事業)



本事業により建設されたカンプール浄水場

[借款概要]

承諾額/実行額	12,518百万円 / 12,442百万円
借款契約調印	1989年3月
借款契約条件	金利2.5%、返済30年(据置10年)
貸付完了	2000年10月

[事業概要]

都市開発の進展により増大するラウルピンディ及びその近郊農村を含むイスラマバード首都圏の水需要に対応するため、カンプールダムを水源とした水道施設の整備を行うもの。

[評価結果]

本事業により、取水・導水施設、浄水施設、ポンプ・電気設備及び貯水施設が建設された。用地取得に8年を要したため事業完工時期は約7年遅延した。

1日当り給水量は、計画時にはイスラマバード向けに3分の1、ラウルピンディ向けに3分の2の配分を予定していたが、2000年の完工以降の実績はいずれも計画値を下回っている。特にラウルピンディ向け給水は計画値の20～30%しかなく、現状、本事業の効果発現は不十分である。これは旱魃により水源であるカンプールダムの貯水量が減少し計画通りの浄水生産が出来ないことが主な原因であるが、ラウルピンディ地域内の末端配水管整備(円借款対象外)が遅れたことも一因である。

イスラマバードの人口増加は予測を超えて進んでおり、将来の水需要に対応するために、水資源の確保や配水網のリハビリ等、2000年に実施された当行の援助効果促進調査(SAPS)の提言が早期に実行されることが課題である。